

M
R
A
ア
ジ
ア
セ
ン
タ
ー

アジアを救う道

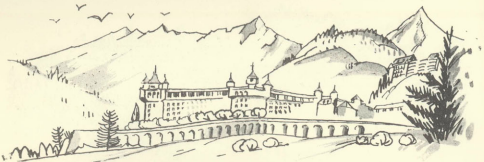
アジアは大きく変貌しつつある。どの国も、どの民族も現状に行詰りを感じ、新しい秩序への希望に飢えている。左右両陣営の唯物的思想攻勢の前に国ぐにの魂が危機にさらされている。十億の民を崩壊と専制から救うために今こそ道義的、精神的な大攻勢を展開しなければならない。

日本は地理的にいっても、国民のもつ精神力の強さからみても、新しいアジア建設の原動力となる責任と使命をもつた国である。

あらゆる職業と階層に属する何十万の日本人が既にMRAを通して新しい視野と考え方、生き方を発見してきた。そして、今や日本にMRAアジアセンターを設立し、各国の指導者を訓練し、共産主義よりも、資本主義よりも、すぐれた道義的イデオロギーの上に真の自由と繁栄を確保するための一步を踏み出すべき時が来たと確信している。

日本が勇氣と規律と献身をもつてMRAを生きたならば、アジアはこのアジアセンターを通して新しい光を発見するであろう。

世界におけるMRAセンターは、欧州ではスイスのコー、アメリカではミシガン州のマキノ島にある。アジアセンターは、これらについて、第三番目のものとなるものである。



コー

コー (CAUX) はスイスのレマン湖を畔でてジュネーブの対岸にある。一九四六年夏開設以來、百十六万から十二万五千人の人が此処を訪れている。十五年間にコーがもたらした成果のうちには次のようなものがある。

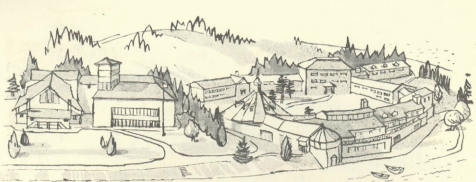
● 戦後、ドイツとその大戦中の敵国との間にわたかる深い憎しみを癒し、欧州の融合の基礎をつくった。フランスのシャーマン元首相も、西独のアデナウアー首相も、全家族と共にコーに来ている。アデナウアー首相はブツクマン博士へのメッセジの中でこういつている。「この仕事を更に進展させなければ平和を維持することは出来ない。」

● ヨーロッパを含む各国の何万という共産主義者達に、より優れた建設的な考え方を与えてきた。戦後、欧州の産業の心臓部であるルール地方では、組合代議員の七十二パーセントが共産主義者によって支配されていた。西ドイツの指導者達はMRAをドイツに招待し何千という労働者並に経営者はコーに行つた。その結果、一九五二年までには共産主義者の支配は八パーセントにまで下がった。二十六年間の党歴を持つドイツ共産党指導者はこう云つた。「自分はインターナショナルの歌を二十年間以上うたいつづけてきた。しかしコーに於てはじめてその精神が現実生活されているのを見た。」

● 特にアフリカを中心として多くの国々が平和裡に独立を獲得する基礎をつくつてきた。コーに於て訓練を受けた人々はチュニジア並びにモロッコの独立に関する極めて困難な交渉にあつて中心的役割を果たした。

● ナイジェリアの初代黒人総督、アジケウエ博士は一九四九年にコーを訪れているが、MRAがナイジェリア独立の背後にある秘訣であると語つた。

● ギリシャ、トルコ、並びに英国の三者が三つ巴になつて血で血を洗う戦いを続けてきたにキプロスに於ては、MRAを通して所謂キプロス方式により一九六〇年三者協議のみに平和的独立を達成した。



マキノ

第二次大戦中よりミシガン州マキノ島 (MACKINAC) において、MRA 会議が開かれていたが、一九五七年には一〇〇人以上を収容するセンターが設立され、また一九六〇年には最新式のテレビ並びに映画のスタジオが之に追加された。マキノに於て達成された仕事の一例をあげれば次のようである。

● 中南米の将来を握る指導者達を訓練し、中南米諸国の分裂と貧困に対する根本的な答を与えてきた。コミンテルンの南米代表であったユドシオ・ラビネス氏は毛沢東に師事した人であるが、マキノを訪れたのち「マキノの道」という本を書いた。これは、彼が嘗て書いた「延安の道」に対する答として書かれたものである。ブラジルのリオ・デ・ジャネイロの港灣は暴力と腐敗の中に沈められ、恐怖の港と云われていたが、マキノを通して聯合と民主的労働運働への道を発見した。アルゼンチン、ボリビア其他の他の大統領も、リオの港灣労働者を招いてその経験を取らされた。彼らのつくった映画「ブラジルの男たち」は世界で上演されている。

● 米国のあらゆる人種、階級の人々を糾合し、米国のガンである人種問題について答を与えつつある。リトルロックの有名な黒人指導者、デイシー・ペッツ夫人は夫と共にマキノを訪れた。彼らは「生涯ではじめて私は白人に対する憎しみの心を失った」と語った。リトルロックに帰って直ぐ、ペッツ夫人はフォーブス知事と会見し、彼らの握手はCBSテレビ放送によって、その年の最も意義あるニュースとして全米に伝えられた。

● ハリウッド、並びに映画産業に新しい方向をもたらし、米国の著名なスターの一人であるジョエル・マックレルは最近のMRAによる色彩映画「最高の経験」についてこう語っている。

小田原アジアセンター

「道義の墮落が崩れたとき、共産主義が慢人して来る。」フックマン博士はこう云っている。『個人の道義が崩れたとき、国の道義も崩れる。戦後、日本は獨取、不正な政治的駆け引きなどが日常の生活様式となつてしまつた。左右双方のテロや暴力行為がかます国家的危機も、実は個人と国家の道義的破綻から生ずるのである。

アジアセンターはこうした問題の根本をついてそれに答を与えようとするものである。そして指導者も一般の人、日本人も他の国ぐにの人間びとも、すべてが共に同じ基盤に立つて、真に国を救ひ、新しい道を発見する場所であり、そうした力を作る場所になるのである。アジアに於けるMRA会議は既に各国指導者の主催で、コロンボ、ニューデリー、バンコック、バグオそして日本の大津で行われた。大津のアジア会議にはフィリップ、ベトナム、ビルマ等の各国大統領、首相からメッセジと代表者が派遣された。しかし、今アジアの多くの指導者たちは、アジアを北京からメッセジと代表者が派遣された。しかし、今アジアの多くのすぐれた思想のもとにアジアの将来と方向を決定したいと待ち望んでいる。そのために永久的なMRAアジアセンターを持つことが不可欠であると考えられている。

日本は清潔な国にならなければならない。それこそアジアが日本に望んでいるものである。そして真の民主主義はそのときこそ得られるのである。

そうなつたとき、若いも若きも燃えような情熱で闘うであらう。青年は戦いの目的を知り、そして勝利を得るであらう。そのとき、われわれはアジアと世界に平和を与えるものとなるのである。

時はきわめておそい。しかし、ここに答がある。神かけて、今こそめざまなければならぬ！



事業計画

東京から汽車で約一時間半、箱根山の麓、相模湾を見晴らす美しい丘の上に MRA アジアセンターの敷地が設けられた。

所在地 神奈川県 小田原市
土地

山林・宅地合計 一一、〇〇〇坪

購入費用概算

一五〇、〇〇〇、〇〇〇円

建築物

集会場・食堂・宿舍

一、〇〇〇坪

建築費用概算

二〇〇、〇〇〇、〇〇〇円

総額概算

三五〇、〇〇〇、〇〇〇円



募金の方法

世界各国の MRA の仕事はすべて、沢山の人々の機率的募金によつてまかなわれている。基金、財団といった様な財源はない。この仕事の意義を信じて何百万の人びとが献身的な寄与をしているのである。

日本でもアジアセンターの為に既に貴重な寄附金が与えられた。

或る電機工場に働く三十一才の工員は結婚資金として長らく貯蓄してきた十万円を拠出し、更に仲間の工員からも参加を待つている。

或る中国出身の実業家は、日本はアジアの自由の最後の防壁であるから之を守るために何度もし度いといつて百万円を拠出した。

兵庫県の青年團副会長としていた青年指導者は最近結婚に際し、新婚旅行のための費用を寄附した。

或る高級官吏の人は毎月の月給の中から一万円を寄附されている。

その他、多数の人々の犠牲と献身によつてセンターが建設されて行くと思う。

一、寄附金受入先 東京都港区麻布富士見町一九 アジアセンター建設後援会

一、寄附金払込み方法

直接、後援会に郵送その他の方法で御寄附頂くか、または左記各行に御振込み頂いても結構です。

(振替口座 番)

第一銀行本店

三和銀行東京支店

三井銀行本店

住友銀行東京支店

三菱銀行本店

富士銀行室町支店

東京銀行本店

東京都民銀行本店

一、指定寄附金の負税措置申請中

M
R
A
ア
ジ
ア
セ
ン
タ
ー
建
設
後
援
会

世
話
人

工藤昭四郎
千葉三郎
千河信二
十河正道
山際正一
早川慎一
澁沢敬三